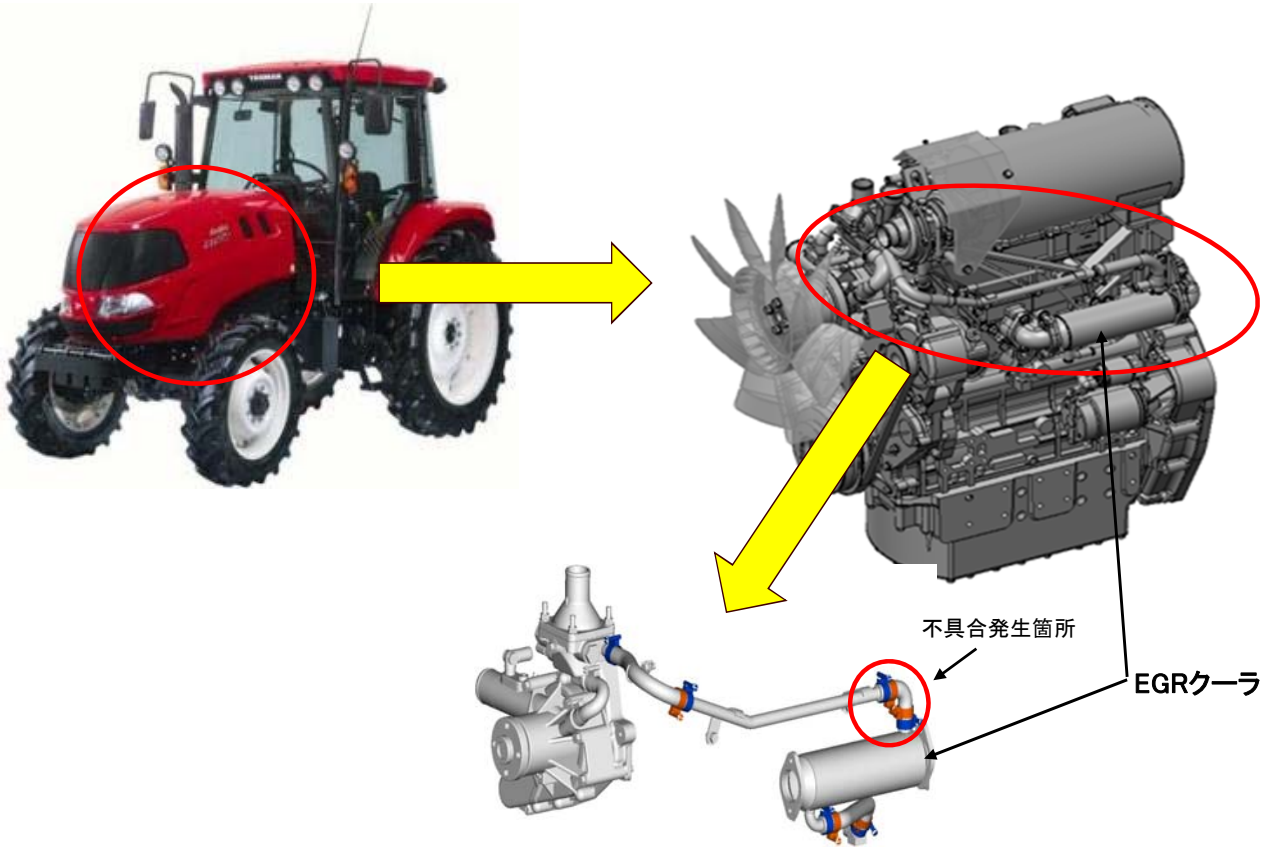
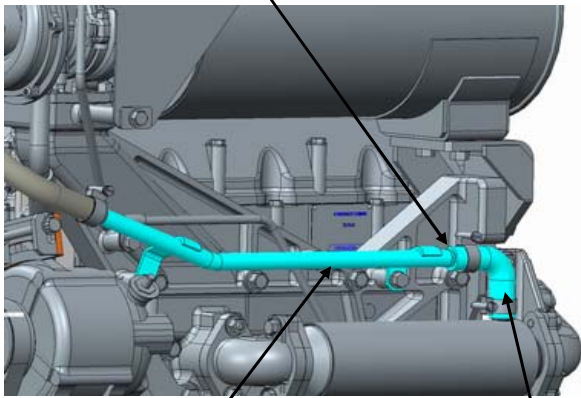


改善箇所説明図①



改善前

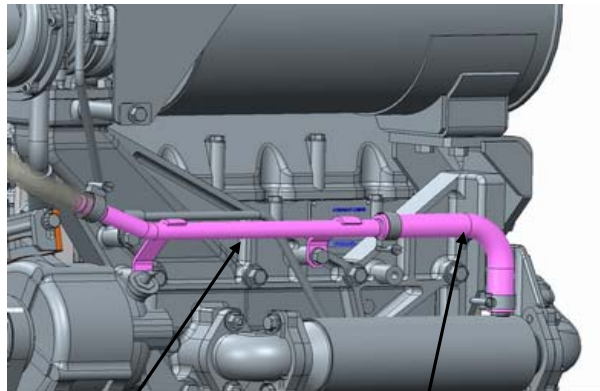
不具合発生箇所



パイプ

EGR継手ホース

改善後



パイプ

EGR継手ホース

ホースの長さを延長
38mm → 138mm

不具合発生箇所

排気ガス再循環装置 (EGR) のクーラ配管において、EGR継手ホースの形状が不適切なため、継手部より冷却水が漏れることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、水温が上昇して警告灯が点灯し、最悪の場合、オーバーヒートに至るおそれがある。

改善内容

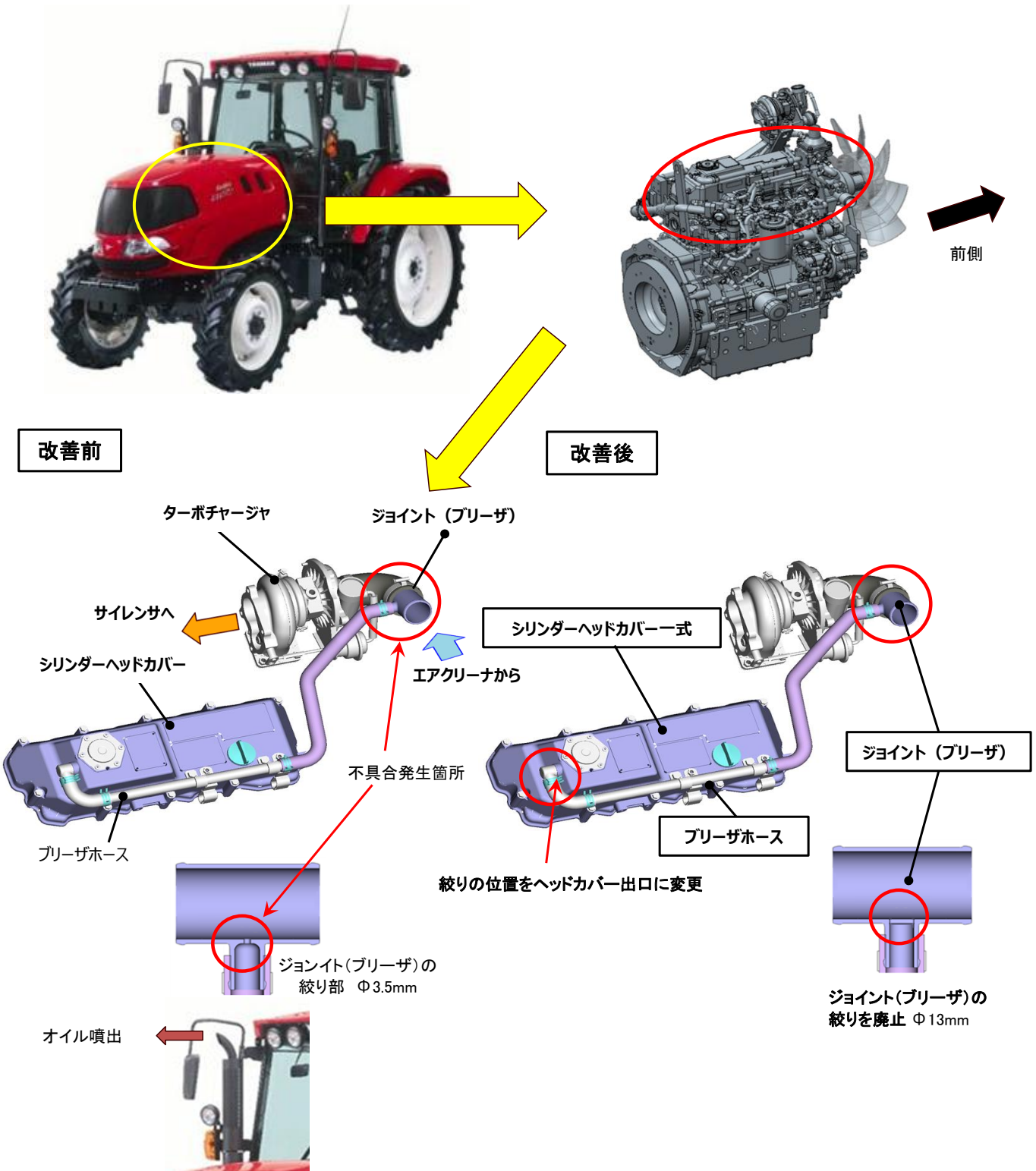
全車両、EGR継手ホース及びパイプを対策品に交換する。

□ は、交換部品を示す。

識別

EGRクーラ継手ホースの形状にて判断が可能。

改善箇所説明図②



不具合発生箇所

ブローバイガス還元装置の構造が不適切なため、低温での運転時にブローバイガス中の水分がジョイント(ブリーザ)の絞部で凍結して経路を閉鎖し、シリンダーヘッドカバー内の圧力が上昇することがある。そのため、ターボチャージャの潤滑油が当該圧力により押し出されて排気経路及び吸気経路に流入し、エンジン始動時に排気管からオイルが噴出する及び排出ガス値が基準を満足しなくなるおそれがある。

改善内容

全車両、シリンダーヘッドカバー式及びジョイント(ブリーザ)を対策品に交換する。

□ は、交換部品を示す。

識別

ジョイント(ブリーザ)のペイント(黄色)により識別。